



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail:juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.43(2023.9) 本号の編集担当者 林寛之

【支部情報】

予定

1) 『第12回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2023年11月26日(日) 会場：名古屋大学医学部鶴友会館およびZOOMによるハイブリット開催

2) 『中部ブロックポータルフォーリオ発表会*2024』

2024年3月2日(土)

●岐阜支部

報告

1) 第5回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー(胸部)

日時：2023年7月15日(土) 13:00~16:00

場所：総合在宅医療クリニック(岐阜県羽島郡岐南町薬師寺4-12)

受講：指導医4名、総合診療専門医3名、総合診療専攻医8名、研修医13名、計28名

指導：三好内科医院 服部和樹先生、岐阜大学地域医療医学センター 牛越博昭先生、岐阜大学医学部附属病院・岐阜市民病院・岐阜県総合医療センター・岐阜病院 臨床検査技師8名、計10名

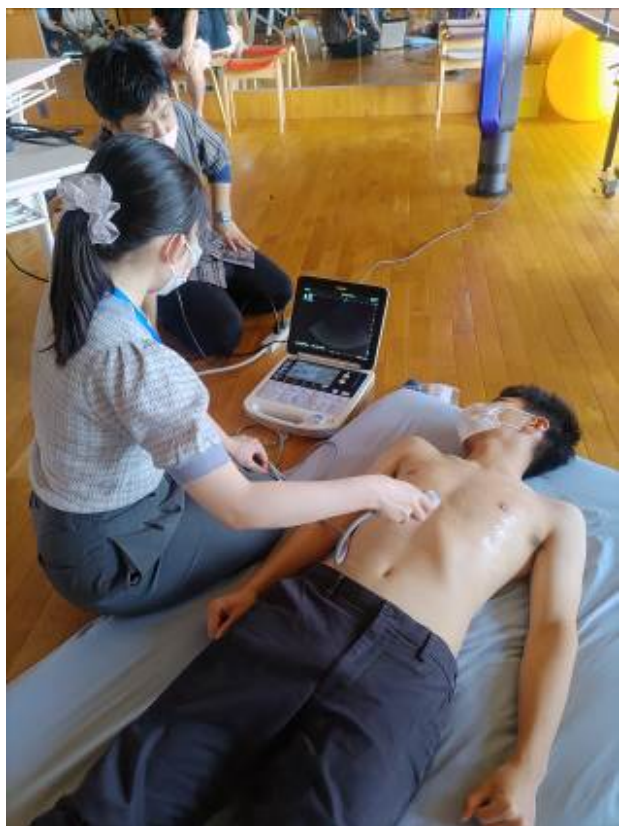
エコーモデル：岐阜大学医学部医学科男子学生12名

内容：①服部先生講義40分、②ハンズオンセミナー120分、③関根綾子臨床検査技師講義20分

平均到達目標達成率：70%

単位：off-the-job training 臨床2.5単位





予定

1) 第1回ぎふ総合診療レジデントディ

日時：2023年9月28日（金）13：00～17：00

場所：古民家あいせき（岐阜県関市本町7丁目13）

内容：講義とワークショップ

2) 第6回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー（腹部）

日時：2023年10月28日（土）13：00～15：45

場所：総合在宅医療クリニック（岐阜県羽島郡岐南町薬師寺4-12）

受講：計30名を募集中（参加無料）

指導：岐阜大学医学部附属病院肝疾患診療支援センター 今井健二先生、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜病院 臨床検査技師9名、計10名

エコーモデル：岐阜大学医学部医学科男子学生12名を募集中

単位：off-the-job training 臨床2.5単位

3) 第 50 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時：2023 年 9 月 22 日 (金) 18:30~20:30

場所：グランヴェール岐山

症例検討：2 症例

講師：岐阜大学医学部附属病院脳神経外科 助教 山田哲也先生

演題：未定

4) 第 5 回ぎふ総合診療セミナー

日時：2023 年 9 月 27 日 (水) 20:00~21:00

開催：Zoom

講師：県北西部地域医療センター国保白鳥病院 院長 後藤忠雄先生

テーマ：「あなたの EBM の壁、ちょっとだけでも壊しちゃおう」

単位：off-the-job training 臨床 0.5 単位

●三重支部

【活動報告】

1) 総合診療 虎の穴 巻之二十 開催

「急変対応が得意な総合診療医になるの巻」

日時：2023 年 7 月 1 日 (土) 13:00-17:00

場所：三重大学医学部附属病院 外来棟 5 階ホール+スキルズラボ

演者：日下伸明先生 (志摩市民病院)

江角悠太先生 (志摩市民病院)

林俊太先生 (志摩市民病院)

江角亮先生 (三重中央医療センター)



【今後の予定】

1) 総合診療 虎の穴 巻之貳拾壱 開催予定

Generalist Skills-01

日時：2023年9月30日（土）13:00～

場所：三重大学医学部附属病院 外来棟5階ホール

演者・演目：

「プライマリ・ケア医のための表在性外傷の診かた」 堀端謙（亀山市立医療センター）

「とことんロールプレイ！身体で覚える「行動変容」！～これで明日から自由自在！？～」

森洋平（みたき総合病院）

2) 第3回 三重大学総合診療フォーラム 開催予定

テーマ「地域医療実習を本当に参加型にするには」

日時：2023年12月9日（土）14:00-18:10（予定） 18:45～懇親会

場所：三重大学三翠ホール（小ホール） ※懇親会は三重大学地域創生プラザで開催

内容：＜発表＞東海地方の各大学の地域医療実習について

＜特別講演＞吉村学先生（宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授）

テーマに沿って講演・グループワーク・ディスカッションを行います。

皆様どうぞご参加ください。

●静岡支部

1) 『第1回 しずセミ開催』

当プログラム主催の《しずセミ！～静岡の家庭医と学ぶプライマリ・ケア入門セミナー～》第1回開催のご案内です。2023年9月21日(木)19時より『患者に寄り添う医療って？PCCM（患者中心の医療の方法）を使ってみよう』をテーマに行います。グループワークを交えながら、家庭医視点のアプローチ方法を考えます。

専攻医の経験をベースとした医学生・初期研修医向けの内容となっておりますが、プライマリ・ケア／家庭医にご興味のある医療関係者のご参加も大歓迎！たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

しずセミ！は家庭医の卵である当プログラムの専攻医と指導医による定期勉強会企画です。参加頂いた皆さんと一緒に考え、語り合い、学び合える場にしたいと思っています。

お申込みは静岡家庭医養成プログラム HP からお待ちしております→<https://www.shizuoka-fm.org/>

2) 第19回しろわカフェ開催（御前崎市家庭医療センターしろわクリニック）（2023年6月15日(木)）

しろわカフェとは、しろわクリニック開院当時から開催している市民公開講座です。今回のテーマは「今年の夏も乗り越えよう！～食中毒と熱中症について～」と題し、当クリニックの安田法永医師が食中毒について、御前崎市役所健康づくり課の方が熱中症についてお話して下さいました。

食中毒のお話では、身近な食べ物に食中毒の危険があることを伝え、食べ物の保存方法などを話されました。

熱中症のお話では、救急搬送の内訳や、熱中症を引き起こす要因、重症度、対策などをお話下さいました。

市民の皆様に理解を深めていただいた良い機会となりました。



3) ふじの国地域医療センター主催の「こころざし育成セミナー」開催 (2023年8月1日(火))

ふじの国地域医療センター主催の「こころざし育成セミナー」が開催され、菊川市家庭医療センターには医師・看護師を目指す2名(高校生1名、中学生1名)が見学にいっていただきました。

この「こころざし育成セミナー」は、医学部医学科への進学を目指す静岡県内の高校生等を対象に、医師による講話、先輩医師との懇談、病院見学、模擬体験などを各県内病院にて開催されるもので、今年度は県内19病院等で実施しており、医療職を志す学生248名が参加されています。

当院では、センター長の松田真和医師から自らの経験を踏まえ「地域で働く魅力」「家庭医とは何か」等の説明を行い、看護師や技師等の現場スタッフからも業務内容や働き方について説明があり、質問を交えながら実際の医療現場を見学いただきました。



見学者からは下記のような感想をいただきました！

- ・医師のイメージは「病院の救急医」を想像していたが、今回見学をし、地域密着型の働き方もあるのだと知ることが出来た
- ・医療機関のスタッフから直接話を聞くことが出来て、生きがいを感じられる仕事だと改めて感じた
- ・目指す職業について、どんな働き方があるのかを調べることの大切さを感じた

4) 第3回不登校・発達障害に関する情報共有会議開催 (2023年8月3日(木))



森町家庭医療クリニックでは8月3日に町内のSC (スクールカウンセラー)、小中学校の教師、教育委員会の皆様と一緒に第3回不登校・発達障害に関する情報共有会議を開催しました。

当クリニックの医師、公認心理師、看護スタッフを合わせて26名が参加し、医師によるケース紹介やケースを元にしたグループワーク、スクールソーシャルワーカーからのレクチャーを行いました。

グループ分けでは学校、職種も混ぜたグループを作成し、多職種で活発な意見交換が行われました。

事後アンケートでは「主催者の意図されていた「堅苦しくない座談会」が実現されていて、とても学びが多く楽しい会でした。冬の学習会も楽しみです!」「お互いに話をすることで、生徒、家庭にとって最善の方法を考えていけるようになるのではないかと思います。」等、建設的な意見が多く聞かれました。

引き続き連携を取りながら地域の皆様のために協力して活動して参ります!

4) 浜松医大/SFM 第1回ウィメンズヘルス in primary care 勉強会開催 (2023年8月3日(木))

8/3にZOOMにて浜松医科大学地域家庭医療学講座の鳴本先生による浜医大/SFM 第1回 ウィメンズヘルス in Primary Care 勉強会を開催しました。今回は「一般外来でどうウィメンズヘルスを取り入れる?」をテーマに医療面接での声掛け、ロールプレイなど、30分ながら知識たっぷりの勉強会でした!

参加者の方からの嬉しい感想も続々と寄せられています!

- ・先生方のロールプレイは、女性の方に対する問診の流れをイメージすることができて非常に面白かったです。
- ・ロールプレイをしてくださったことで、実際の診療の様子や、先生の頭の中を知ることができるようになっていた点が良かったです。

勉強会は全5回まで。

第2回となる次回は10/19 (木) 20:15~、

浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座の岩田智子先生による「正常?異常?性器出血」がテーマです。

ご参加ご希望の方はこちらから→ [HTTPS://FORMS.GLE/P9UMC5LWHE8ON23BA](https://forms.gle/P9UMC5LWHE8ON23BA)

●富山支部

<PF(ポートフォリオ)勉強会>

PF 勉強会は毎月行われていますが、今回はその中でも 6 月の勉強会の様子を以下に報告します。

【6 月 PF 勉強会】

6 月の PF 勉強会が 6 月 14 日、富山大学で開催されました。

とやま総合診療専攻研修プログラムの PF 勉強会は、年に 2 回、6 月と 12 月にオフライン開催の機会があります。

6 月は、今年度 1 回目のオフライン開催でした。

今回のテーマは、「アラ 10」、「PF 事例検討」でした。

「アラ 10」は、2022 年のプライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部会で企画されたものです。専攻研修期間が終わりひと段落した卒後 10 年目前後の医師がどのようなことを考えているか、どういったことを大切にしているかをみんなで聞きながら学ぶものです。専攻医の先生方にとって今後のキャリアパスを考える上で、有意義な場になったのではないかと思います。

専攻医の PF 事例検討は 4 つのグループに分かれ、行われました。各班大変盛り上がりが見受けられました。オフラインだとお互いの顔やしぐさが見えやすく、場の空気や雰囲気はオンラインとは一味違ったものになりました。今回の発表者は専攻医 2・3 年目でしたが、討論の場に参加した専攻医 1 年目の先生方にとっても大きな刺激となっていたようです。

<臨床研究勉強会>

【第 2 回臨床研究勉強会】

今年度第 2 回目のとむじぇり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を 6 月 22 日に行いました。

本日のテーマは、前回文献検索の追加講座 + 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会発表体験記 + 研究についての基礎知識レクチャー、の三本立てと盛りだくさんの一時間半となりました。

「文献検索追加講座～文献まとめソフトのススメ～」

富山大学附属病院総合診療科准教授の北啓一朗先生により、前回の補足講座として文献まとめソフト(いわゆる Reference Manager)を複数紹介いただきました。

「日本プライマリ・ケア連合学会学術大会発表体験記」

専攻医の先生により、2023 年 5 月に行われた第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会での発表について、発表に至る経緯、準備期間から当日の発表の振り返りまでをまとめていただきました。

「研究を始めたい！基礎知識講座」

指導医の先生により、研究の基礎知識について網羅的に学ぶレクチャーを行っていただきました。

とやま総合診療専攻研修プログラムでは、今後もプログラム内外の先生、また、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思えます。

<そのほかのイベント>

【Dr.南郷栄秀の EBM ワークショップ in 南砺市民病院】

令和 5 年 6 月 17 日 (土) 18 日 (日) に南砺市民病院で、

富山県臨床研修病院連絡協議会と共催による「初期研修医スキルアップセミナー」を開催いたしました。

聖母病院総合診療科の南郷栄秀先生を講師にお迎えし「EBM の実践ワークショップ」を熱くご講義いただきました。

研修医、総合診療科専攻医の他に、医学生や他職種にも多数お集まりいただき、

当院総合診療科専攻医の症例などをベースに活発なディスカッションが行われました。

6/17 (土) は専攻医対象の EBM ポートフォリオ作成 WS

6/18 (日) は学生、研修医向きのランダム化比較試験の批判的吟味

を行いました。

南郷先生、ありがとうございました！

【学生向けの勉強会「総合診療医って何しているの？」】

2023年7月19日に今年度第1回目の学生交流会を開催しました。

富山大学総合診療部は医局員の数は多いものの、関連病院・診療所に分散しており、大学勤務医が少ない事から医学生へのアプローチの難しさを感じていました。

総合診療、家庭医療の魅力を伝えたいという思いから今回の企画を考えました。

低学年を対象に、外来での症例（肺炎）を通して、

その医学的対応だけではなく、退院後の生活を想像したり、行動変容を促したりし、総合診療医がよく出会う事例と一緒に学びました。

学習会というよりは交流会といった雰囲気でもあり、とても楽しい会になりました。

今後も様々なテーマで総合診療の魅力や考え方を伝えていきます。

<資格関係>

日本在宅医療連合学会専門医試験にとやま総合診療専攻研修プログラム卒業の医師が1名合格しました。とやま総合診療専攻研修プログラムでは総合診療専門医取得後、いわゆる2階建ての2階部分である在宅医療専門医を育てるフェローシップと連携しています。もちろん病院総合診療医や新・家庭医療専門医についても取得できるような体制が整っており、基本領域専門医取得後のキャリア支援を精力的に行っています。

他の詳しい開催報告内容については、とやま総合診療専攻研修プログラムホームページ内のブログ「とむじぇり通信」に記載されていますので、チェックいただけたら幸いです。

とむじぇり通信 URL ↓↓↓

<http://thecigm.med.u-toyama.ac.jp/info/>

●福井支部

<岡田唯男先生来福&予防医学レクチャー>

6月6日（火）に、亀田ファミリークリニック館山院長の岡田唯男先生をお招きして、総合診療科専攻医、スタッフ向けに予防医学をテーマにレクチャーいただきました。予防医学の4つの柱である、健診（検診）、予防注射、指導（カウンセリング）、予防内服の中で、今回はカウンセリングについて重点的にレクチャーいただきました。

USPSTF（United States Preventive Services Taskforce）ではカウンセリングは推奨度Cでエビデンスが確立されていないというのは意外でした。それでも変わってくると信じて毎回の外来で指導し続ける根気の強さが必要だと感じました。そのモチベーションとなりうるのがバケツモデルと教えていただきました。指導とは、毎回の外来で行動変容というバケツに少しずつ水を注いでいくようなものである。何かのきっかけでバケツの水があふれて行動変容につながるのをただ待ち続ける（例えば、禁煙指導を長年受けている方が友達の肺癌が見つかったことで禁煙する）とのお話に、聴衆からは共感の声があがりました。

また、「より効果的な指導の仕方はどうすればいいか？」という質問には、Relationship based medicine という概念をご紹介いただきました。自身と患者の関係を利用して指導していくという考えに会場にスタッフ・専攻医もなるほどと納得していました。年齢が若い医師であれば、「私のことを息子だと思って一つきいてください」といった患者さんとの距離、関係性を意識することもコツだと感じました。

最後に写真撮影をして名残惜しくも終了となりました。ご講演頂いたことを外来診療で実践していきたいと思えます。



<2023 年度 第 1 回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会>

2023 年 6 月 24 日(土)、25 日(日)、2023 年度第 1 回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会がハイブリッドで開催されました。大阪医科薬科大学病院総合診療科科長・地域総合医療科学寄附講座教授である鈴木富雄先生をお招きし、臨床推論「医師はどのようにして診断にたどりつくのか？頭の中をのぞいてみよう」および、プロフェッショナリズム「医師はなぜ他人のために働くことができるのか？～利他的行動とプロフェッショナリズム～」についてそれぞれ御講演いただきました。

診断推論については能力を向上させるための勉強方法や、日々の診療の思考の言語化、医師のプロフェッショナリズムについては、その根幹にある利他的行動について、加えて質的研究など様々な部分を御講演いただき、分かりやすく解説していただきました。その後の専攻医による発表でも Zoom のチャット機能を併用したフィードバックや指導が行われ、no blame な雰囲気の中、鈴木先生はじめ指導医の先生方の貴重な御意見・フィードバックをいただくことができました。鈴木富雄先生およびスタッフ・参加者の皆様方、ありがとうございました。



<支部運営についての情報>

● 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

● プログラム責任者の会中部ブロック代表；大浦誠（南砺市民病院）

● 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp